



問 町の地方創生取組みについて

答 若い人に住んでいただけるまちづくりが基本

問 人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境を作り出すことによって、活力にあふれた地方創生を目指すことが急務である。町は人口増を前面にどのような地方創生を構築していくのか。

政策財務課長 五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第5次五霞町総合計画後期基本計画の方向性と整合性を踏まえて、若者の定住化に結びつくような様々な施策を検討し、継続的に見直しながら進めていく方向で考えている。

問 町の産業・少子高齢化対策は。

産業課長 農業・工業を主体とした農工両全のまちづくりを進めてきたが、「道の駅」のオープンをきっかけに観光サービスを踏まえたまちづくりを進めている。

町民税務課長 少子化対策ということで、町単独で「結婚支援員連絡会」を発足し、積極的に結婚支援活動を行っている。

健康福祉課長 高齢者が安心して暮らせるまちづくりを基本目標と掲げ「支え合い協議体」を

設置。誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを目指し高齢者施策に取り組んでいきたい。

町長 人口減対策は、若い人たちに住んでいただけるようなまちづくり、これが一番の基本になると思う。それらを踏まえて今後進めていきたい。

問 子ども・子育て支援について

答 子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域全体で支援していく

問 国策として少子化対策が前面に挙げられ、大規模な予算措置がなされている。少子化という厳しい状況は続く見通しとされている。町の子ども・子育て支援状況は。

町民税務課長 15歳未満の子どもの数、平成28年4月1日現在、914人。平成27年度出生届数46人。医療福祉費の助成対象者は765人。

健康福祉課長 児童手当0歳～中学校卒業まで、平成27年度1億2,306万円。総支給児童数1万1,067人。

町長 五霞町子ども・子育て支援事業計画を立てさせていただいているので、地域全体で子育ても支援していく。また、住ん

でいただくためには思い切った対策もとらなくてはならないが、その辺も踏まえた中で今後検討していきたいと考えている。

